

# 主要3項目すべて改善も次期は「悪化」

## 経営上の問題 仕入価格上昇、人材不足、人件費高騰の順

### 【概況】

#### ◆主要3項目(業況判断・売上高・経常利益)

＜今期＞主要3項目すべて改善

＜次期＞主要3項目すべて悪化を予測

#### ◆業種別

＜今期＞製造業、小売業が主要3項目すべて改善

＜次期＞全業種が主要3項目すべて悪化を予測

#### ◆規模別

＜今期＞大規模企業と中規模企業が主要3項目すべて改善

＜次期＞大規模企業の経常利益が改善、中規模企業と小規模企業の主要3項目がすべて悪化を予測

#### ◆経営上の問題点

1位:商品、原材料仕入価格上昇 2位:人材不足 3位:人件費高騰 ※前回と変わらず

※大規模企業は従業員300人以上、中規模企業は従業員100～299人、小規模企業は従業員99人以下と設定  
※DI(景気動向指数: Diffusion Index)とは...それぞれの調査項目に対してプラス傾向(増加・上昇・改善)の回答割合からマイナス傾向(減少・下降・悪化)の回答割合を差し引いたもの。このDIは基本的には変化の方向を表す。  
(注)▲はマイナス。また、前回調査数値との差が1.0ポイント未満の場合は、「横ばい」での推移とみなす。

### 【付帯調査:人手不足の現状】

・63.2%の企業が人手不足を感じている

・人手不足の要因トップ  
→「新規の人材採用が困難」

・人手不足の対策トップ  
→「給与・賞与内容を見直す」

調査機関:北九州商工会議所

調査期間:令和6年11月25日～12月20日

回答数:465社(製造業105社・非製造業360社)

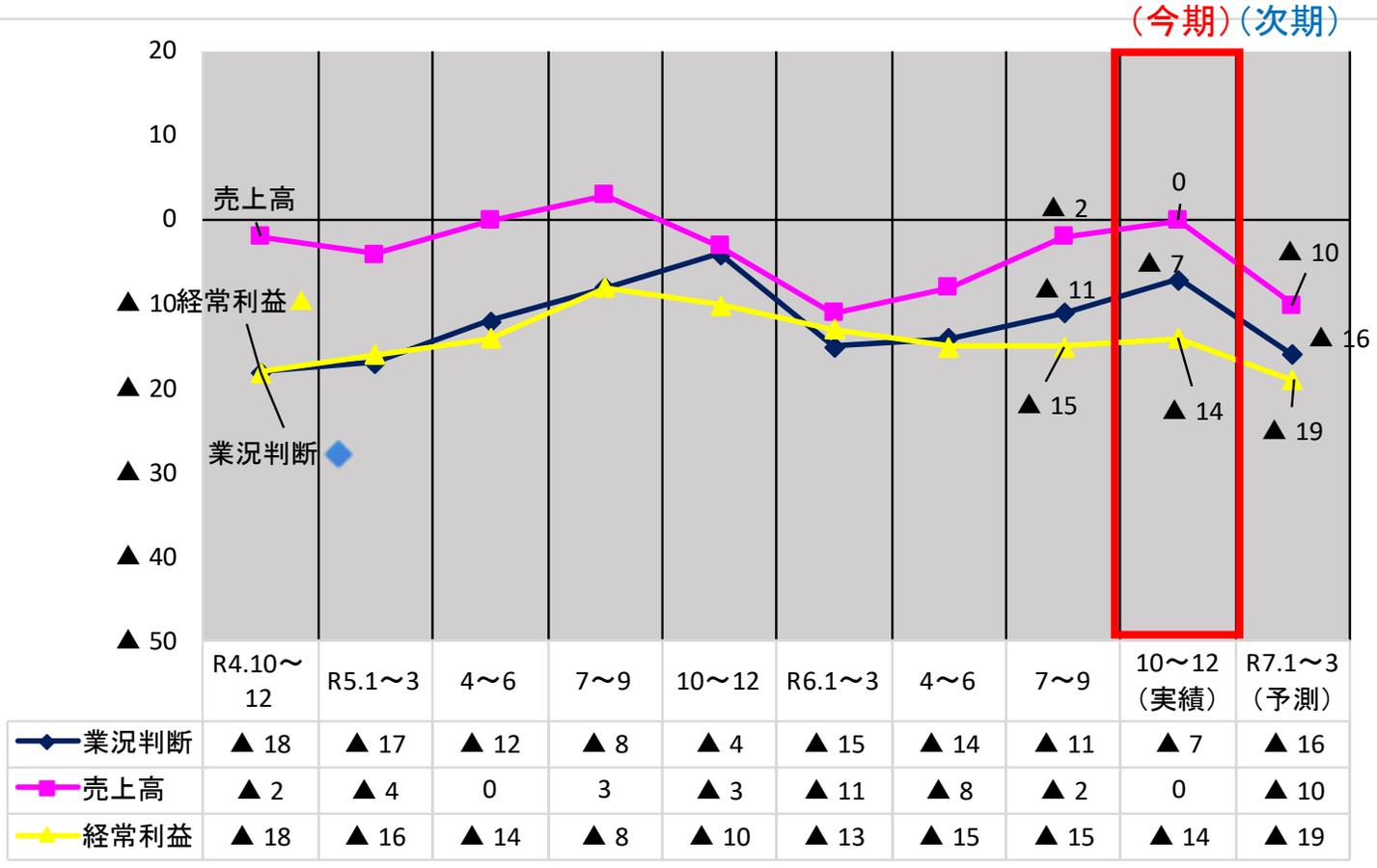
調査方法:郵送・メール・ヒアリングによるアンケート

[参考]調査開始日(11/25)の株価及び外国為替市況

日経平均株価終値38,780円14銭

東京外国為替市場対ドル円相場終値154円21銭

# 主要3項目(業況判断・売上高・経常利益)DIの動向



<今期>

主要3項目すべて改善

<次期>

主要3項目すべて悪化を予測

	業況判断	売上高	経常利益
今期	+4P	+2P	+1P
次期予測	▲9P	▲10P	▲5P

※ ■は改善、■は悪化、■は横ばいを表す

# 業種・規模別一覽

※ ■は改善、■は悪化、■は横ばいを表す

		業況判断		売上高		経常利益	
		今期	次期	今期	次期	今期	次期
業種別	製造業	+4.2P	▲12.4P	+2.6P	▲8.6P	+6.0P	▲6.7P
	卸売業	+10.2P	▲22.5P	▲8.2P	▲6.1P	▲16.3P	▲4.1P
	小売業	+7.3P	▲7.7P	+13.5P	▲3.0P	+4.3P	▲6.2P
	運輸業	+10.9P	▲1.9P	▲3.6P	▲7.3P	+21.8P	▲7.3P
	サービス業	+1.6P	▲10.4P	+7.2P	▲17.6P	▲1.6P	▲4.8P
	建設業	▲7.4P	▲1.5P	▲10.4P	▲4.6P	▲10.6P	▲3.0P
規模別	大規模企業	+7.5P	▲3.8P	+9.6P	±0.0P	+12.7P	+2.0P
	中規模企業	+1.2P	▲10.3P	+14.8P	▲8.8P	+14.0P	▲5.9P
	小規模企業	+3.7P	▲10.1P	▲2.0P	▲10.7P	▲3.6P	▲6.4P

＜今期＞製造業、  
小売業の主要3項目  
すべて改善

＜次期＞全業種の  
主要3項目すべて悪  
化を予測

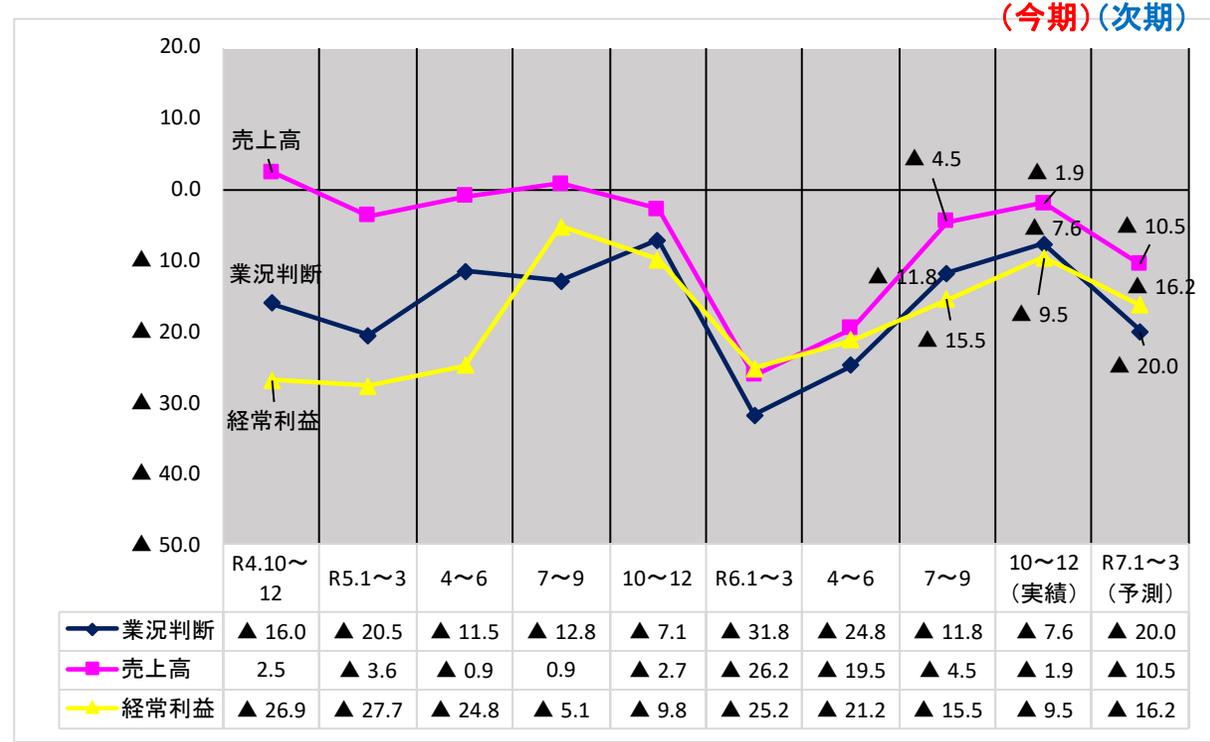
＜今期＞大規模企業  
と中規模企業の主要  
3項目すべて改善

＜次期＞大規模企業  
の経常利益が改善、  
中規模企業と小規模  
企業の主要3項目す  
べて悪化を予測

# 業種別 主要3項目

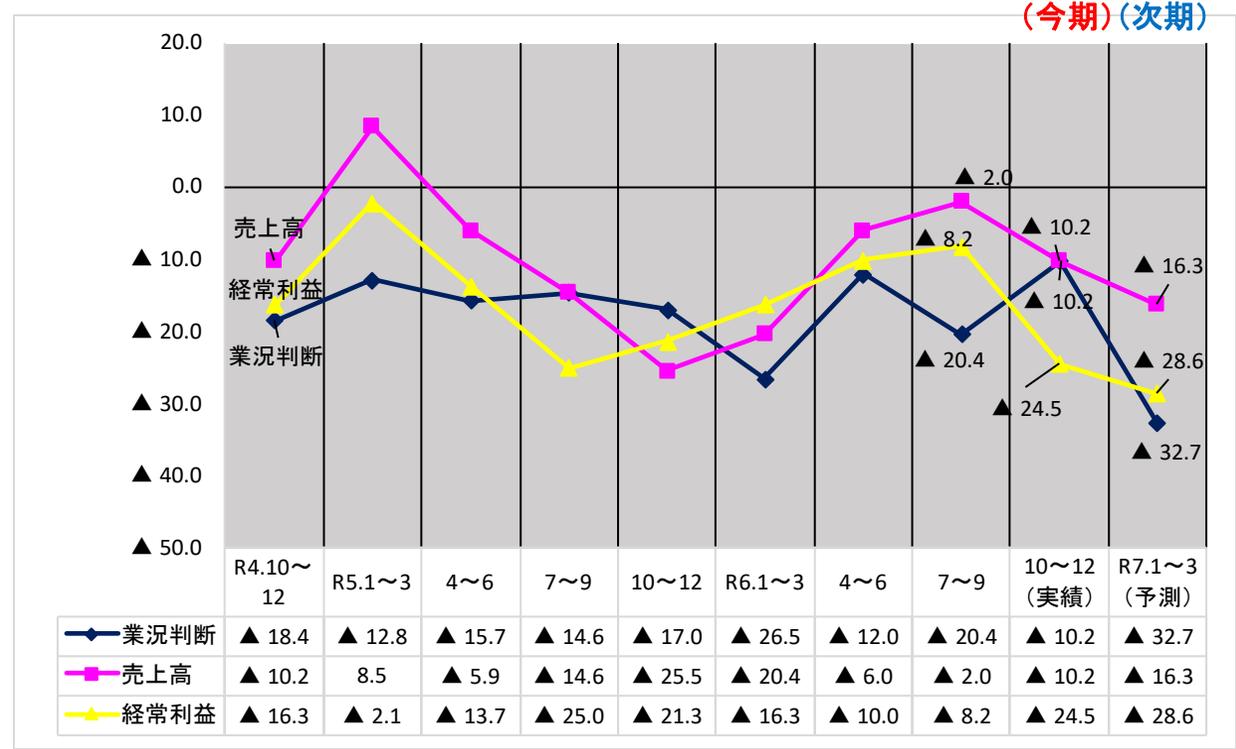
※ ■は改善、■は悪化、■は横ばいを表す

## 製造業



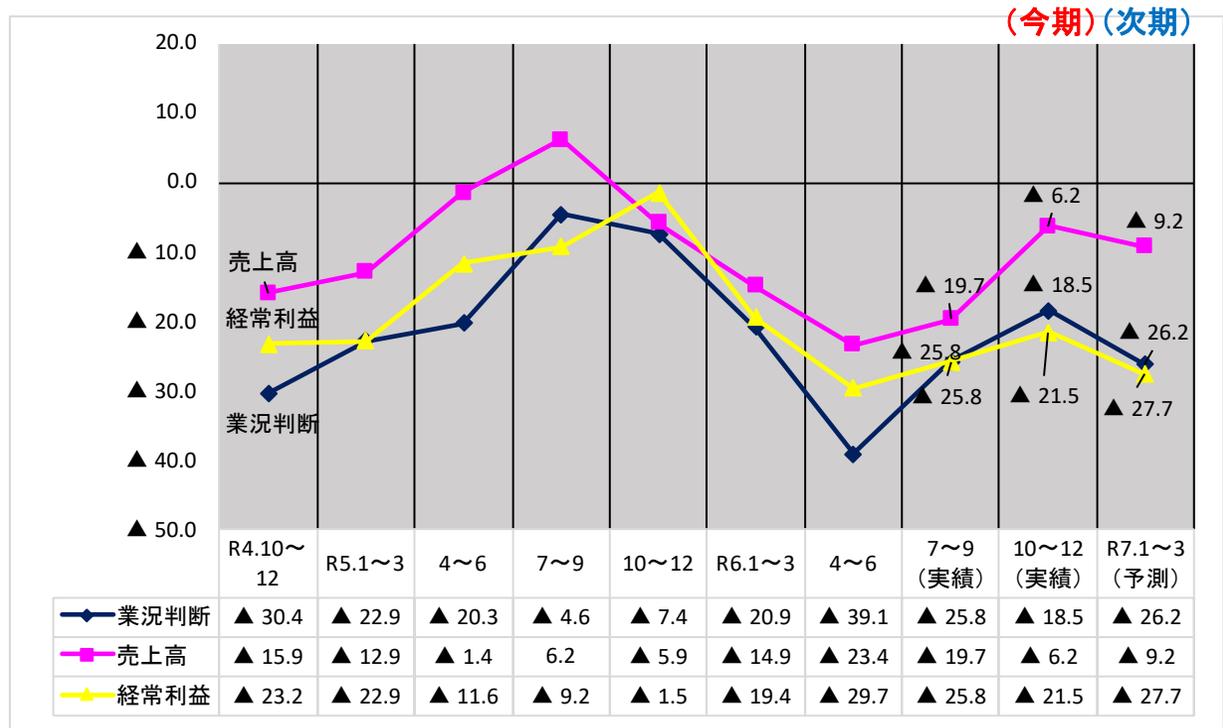
	業況判断	売上高	経常利益
今期	+4.2P	+2.6P	+6.0P
次期予測	▲ 12.4P	▲ 8.6P	▲ 6.7P

## 卸売業



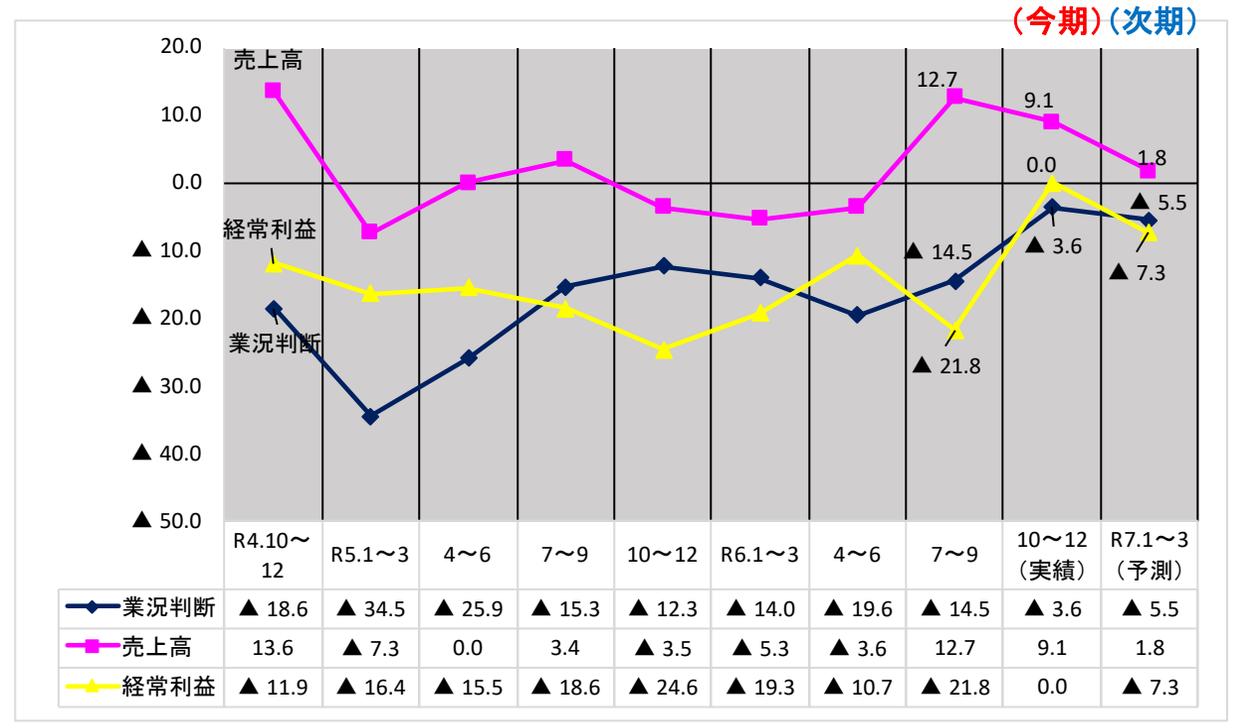
	業況判断	売上高	経常利益
今期	+10.2P	▲ 8.2P	▲ 16.3P
次期予測	▲ 22.5P	▲ 6.1P	▲ 4.1P

## 小売業



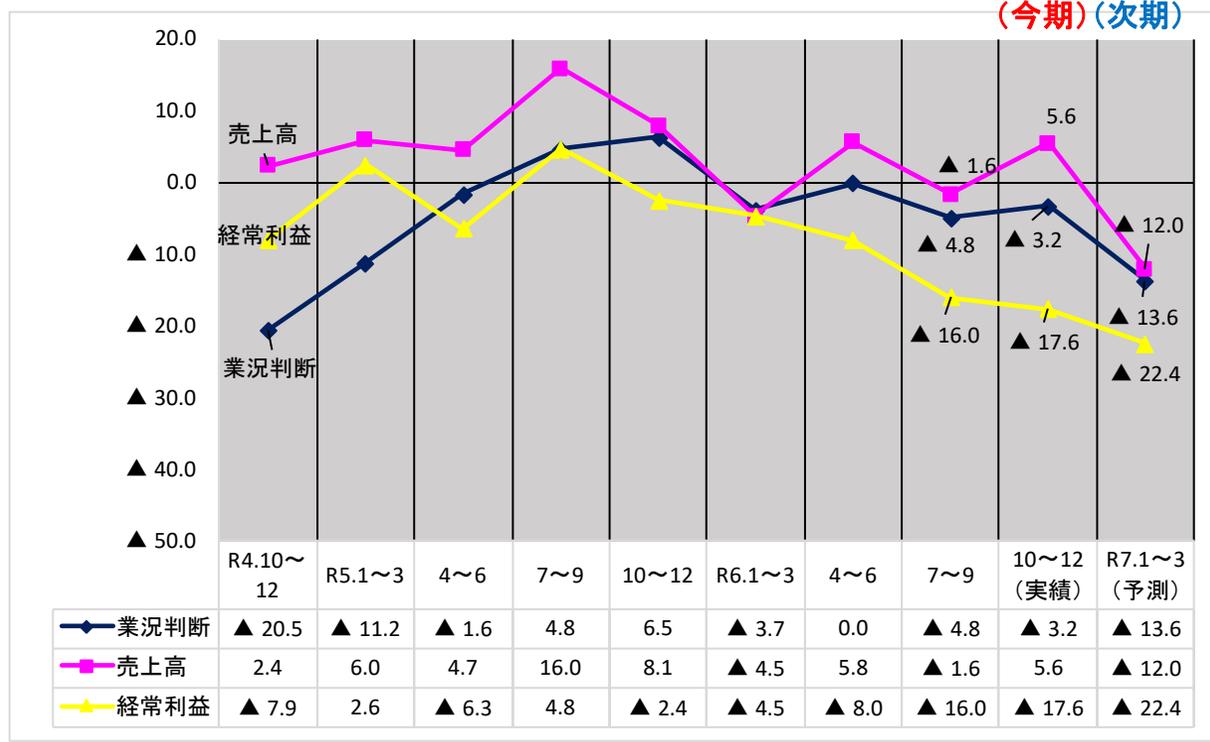
	業況判断	売上高	経常利益
今期	+7.3P	+13.5P	+4.3P
次期予測	▲7.7P	▲3.0P	▲6.2P

## 運輸業



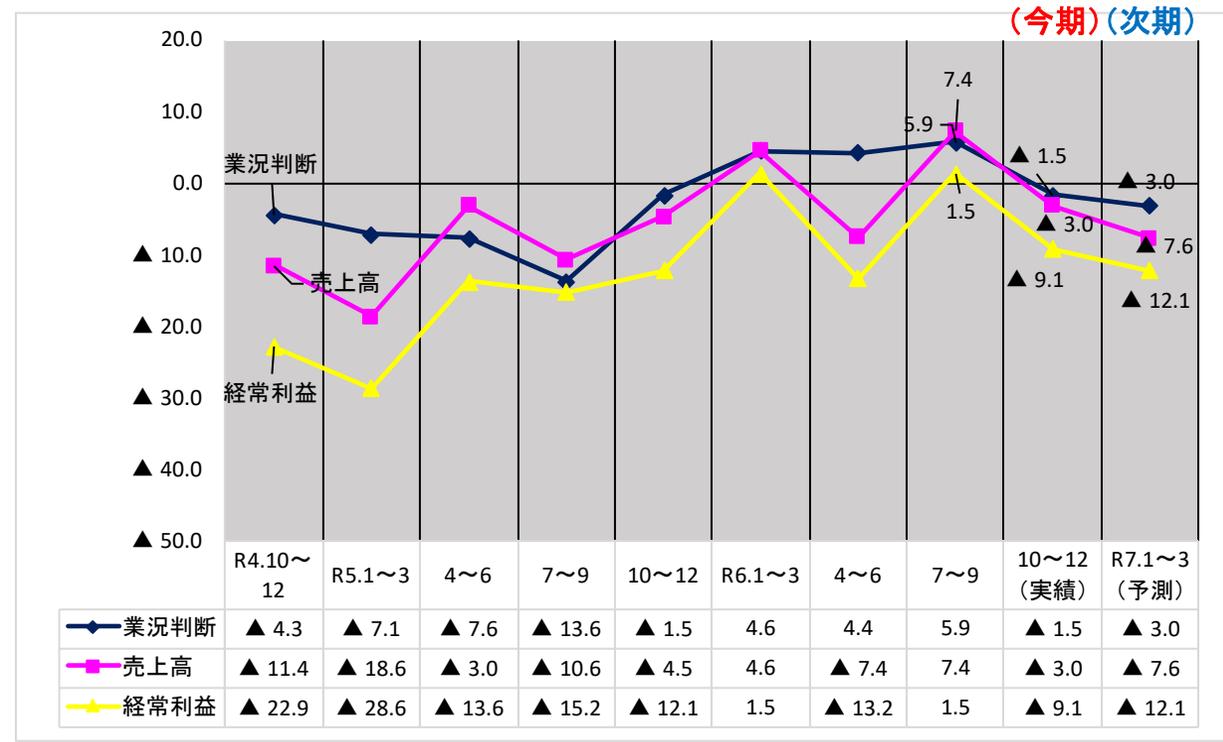
	業況判断	売上高	経常利益
今期	+10.9P	▲3.6P	+21.8P
次期予測	▲1.9P	▲7.3P	▲7.3P

## サービス業



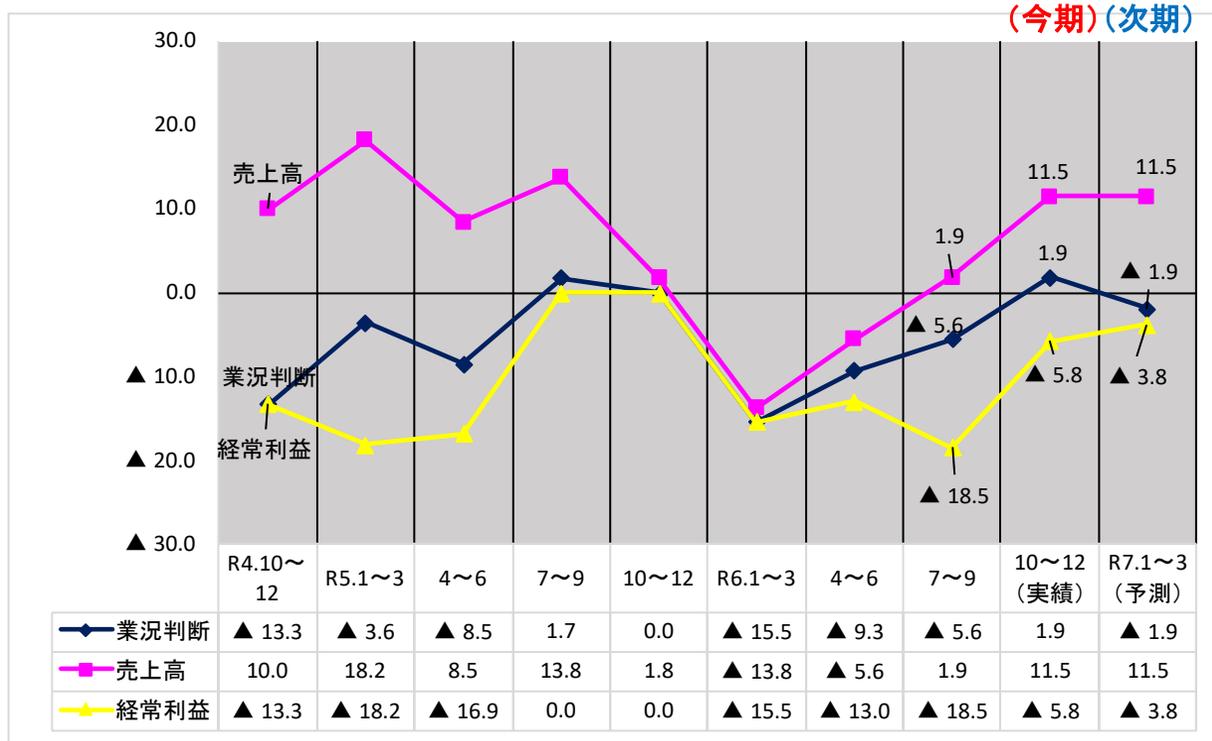
	業況判断	売上高	経常利益
今期	+1.6P	+7.2P	▲ 1.6P
次期予測	▲ 10.4P	▲ 17.6P	▲ 4.8P

## 建設業



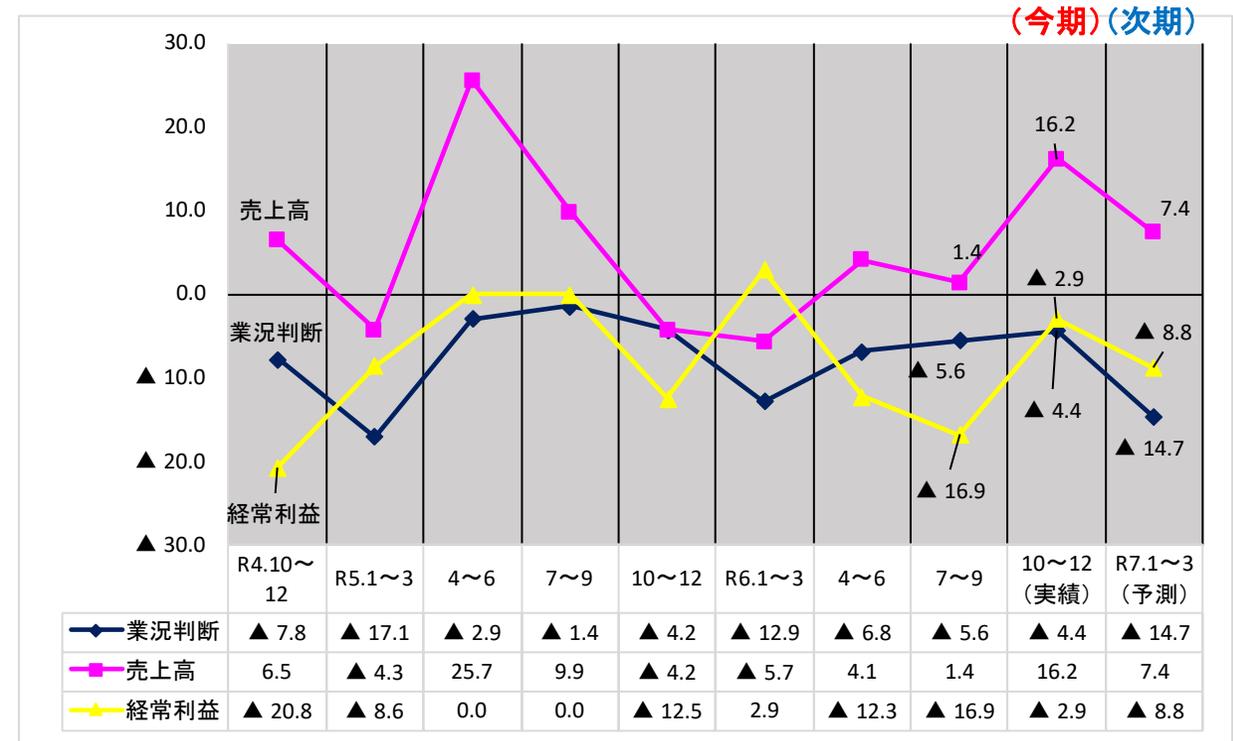
	業況判断	売上高	経常利益
今期	▲ 7.4P	▲ 10.4P	▲ 10.6P
次期予測	▲ 1.5P	▲ 4.6P	▲ 3.0P

## 大規模企業



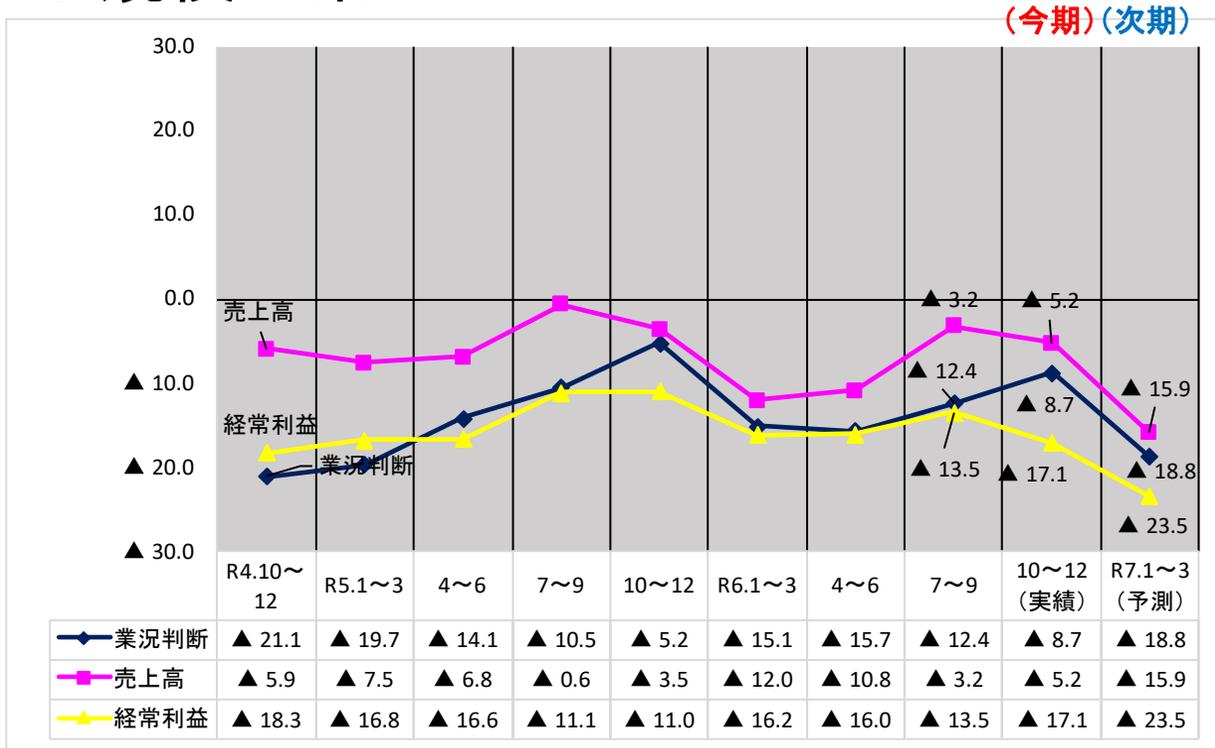
	業況判断	売上高	経常利益
今期	+7.5P	+9.6P	+12.7P
次期予測	▲3.8P	±0.0P	+2.0P

## 中規模企業



	業況判断	売上高	経常利益
今期	+1.2P	+14.8P	+14.0P
次期予測	▲10.3P	▲8.8P	▲5.9P

## 小規模企業



	業況判断	売上高	経常利益
今期	+3.7P	▲2.0P	▲3.6P
次期予測	▲10.1P	▲10.7P	▲6.4P

# その他項目DIの動向

※ ■は改善、■は悪化、■は横ばいを表す

	R5年			R6年				R7年
	4~6	7~9	10~12	1~3	4~6	7~9	10~12 (今期)	1~3 (次期予測)
①販売価格・受注単価 (「増加」-「減少」)	27.6	25.7	22.8	18.0	21.3	17.2	23.4	21.3
②資金繰り (「容易」-「困難」)	8.6	5.5	4.1	7.9	6.8	8.0	7.9	4.9
③設備投資 (「増加」-「減少」)	0.2	3.0	3.5	5.2	5.8	2.6	4.9	0.4
④雇用 (「過剰」-「不足」)	▲43.7	▲43.4	▲45.7	▲44.9	▲43.8	▲44.2	▲47.3	▲45.6

## ①販売価格・受注単価

＜今期＞ 6.2ポイント改善

＜次期＞ 2.1ポイント悪化を予測

## ②資金繰り

＜今期＞ 横ばい

＜次期＞ 3.0ポイント悪化を予測

## ③設備投資

＜今期＞ 2.3ポイント改善

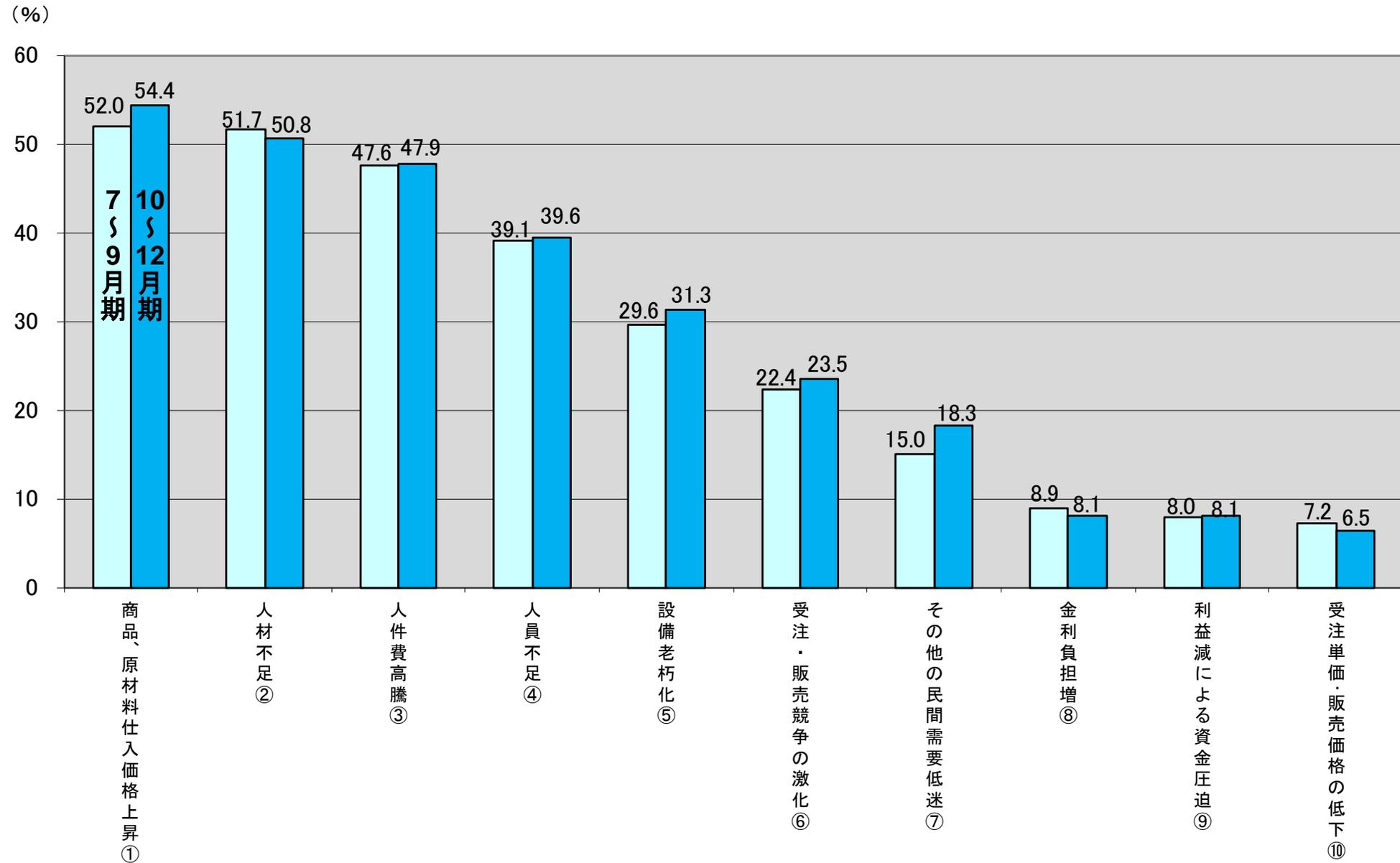
＜次期＞ 4.5ポイント悪化を予測

## ④雇用

＜今期＞ 3.1ポイント悪化

＜次期＞ 1.7ポイント改善を予測

# 経営上の問題点上位10項目(複数回答) ※項目の後の数字は前回調査の順位

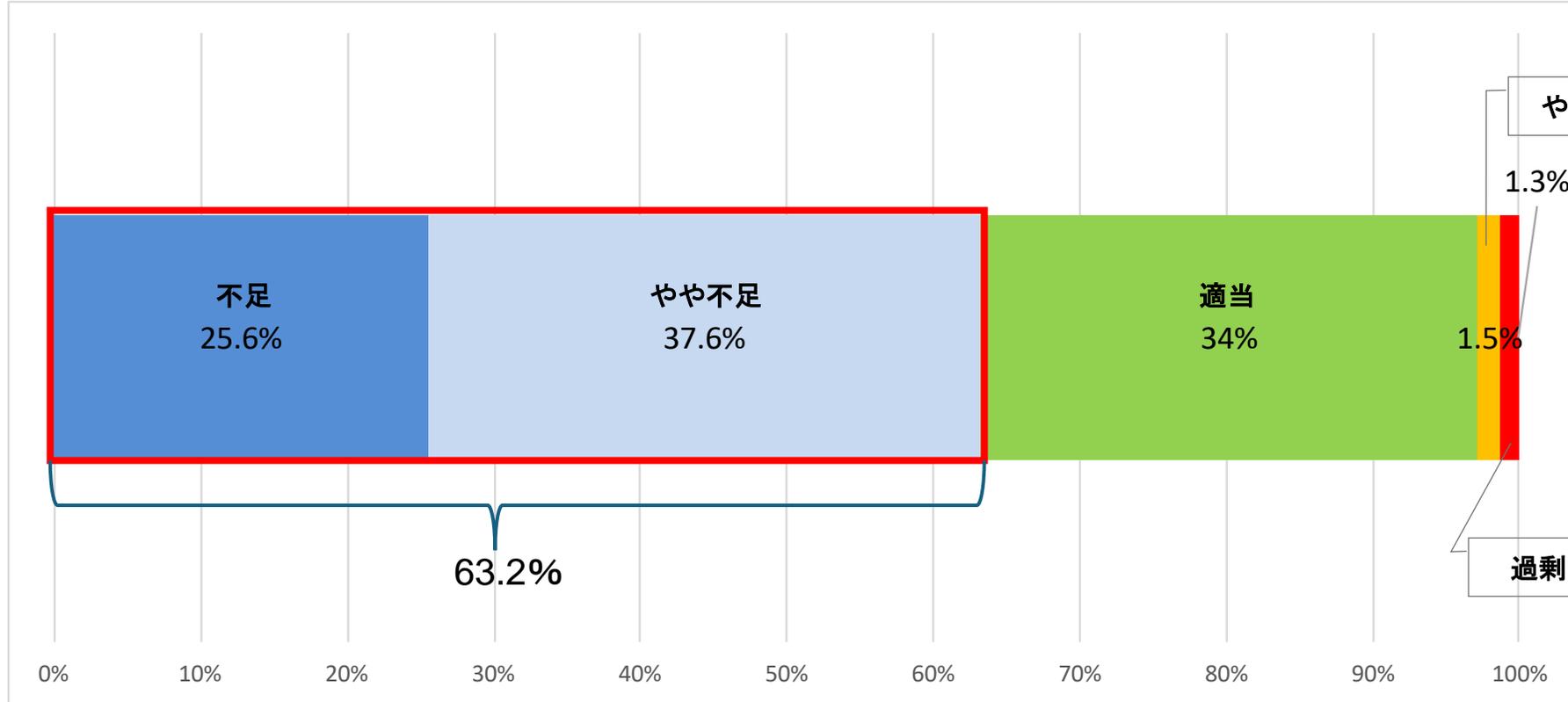


# 調査対象企業の声

業種	業種詳細	規模	内容
製造業	パン・菓子製造業	中規模	パートは集まるが <b>正社員の採用がなかなか難しい</b>
卸売業	農畜産物・水産物卸売業	中規模	人材不足対策として数年前から <u>所得補償の保険に加入し、福利厚生</u> の充実をPRすることで採用につなげている
卸売業	建築材料卸売業	小規模	交渉の末、価格転嫁も進み、賃上げもできている
小売業	機械器具小売業	小規模	<b>人材不足が売上にブレーキ</b> をかけている
小売業	スポーツ用品・がん具・娯楽用品・楽器小売業	小規模	キャッシュレス決済増により、現金回収期間が長くなることで資金回転が悪くなる傾向がある
運輸業	港湾運送業	大規模	将来的には <b>外国人やシニア人材の積極的採用で人手不足をカバーする必要性</b> を感じている
運輸業	倉庫業	小規模	<b>最低賃金</b> が上がっていくことに中小零細企業はついていけない。さらに <b>人手不足</b> を生む悪循環
サービス業	旅館, ホテル	中規模	給与・賞与、福利厚生を見直したことで人員を平常化できた。人員は不足しているが、 <b>最低賃金</b> が上昇しているので <b>人手の補填も難しい</b>
サービス業	計量証明業	小規模	人材確保のため <b>福利厚生の見直し</b> を進めている
建設業	建築工事業	小規模	コロナの反動による受注が安定し、売上高が伸び悩んだ。 <b>材料仕入価格上昇や人件費高騰により利益率は減少</b> した
建設業	大工工事業	小規模	取引先に受注単価アップの要請を行っているがなかなか認めてもらえない

# 人手不足の現状について(付帯調査)

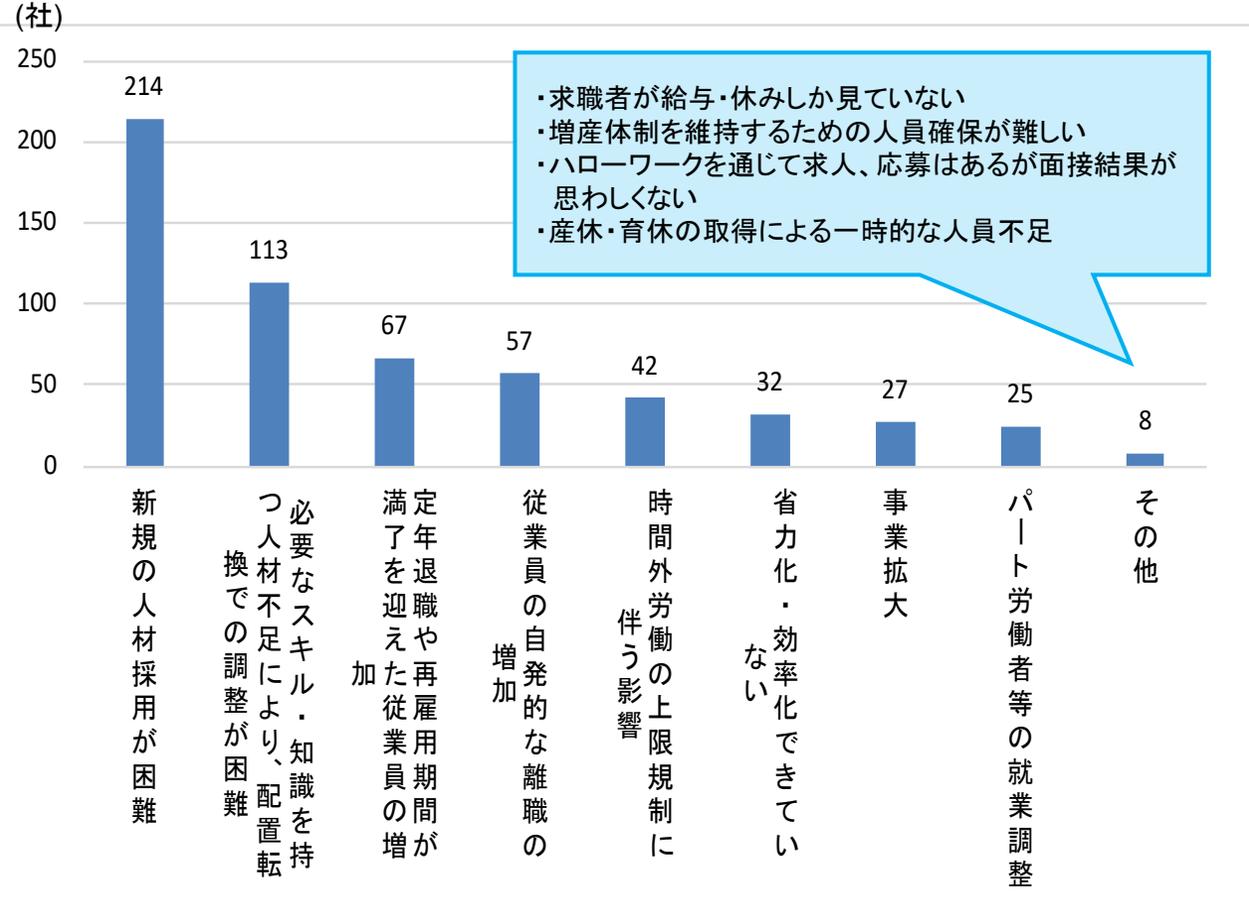
## (1) 労働者の過不足感はいかがですか？



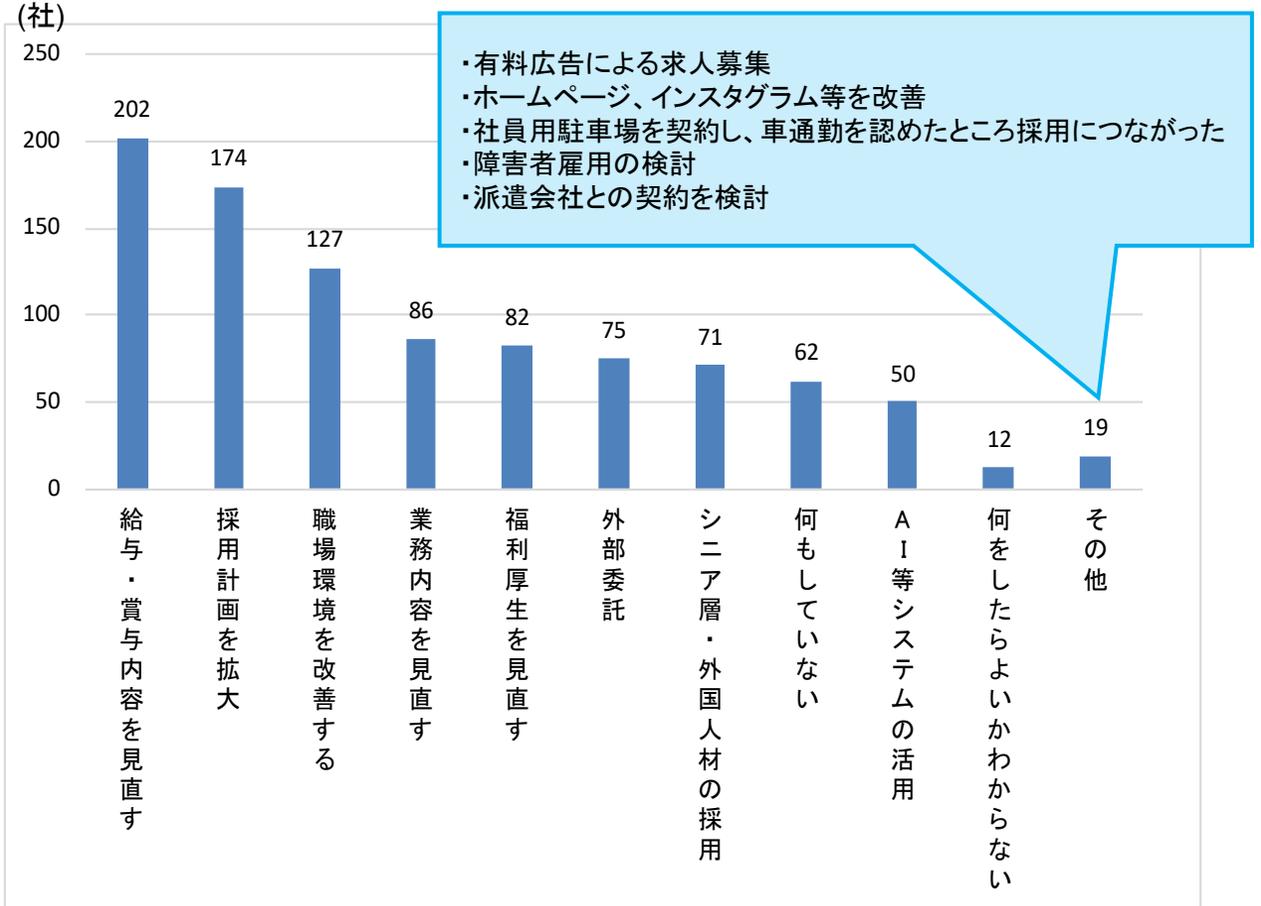
労働者が過剰な企業は極めて少なく、全体の63.2%が労働者不足を感じている

## (2) 人手不足が生じている要因は何ですか？

※(1)で不足、やや不足と回答した企業のみ回答



## (3) 人手不足に対する対策は何かとっていますか？



人手不足の要因は「新規の人材採用が困難」が圧倒的に多い。対策としては「給与・賞与内容を見直す」が最多で、「職場環境の改善」や「業務内容・福利厚生の見直し」などが続いた。給与水準を上げることについては「取引先への(販売)単価が上がらないため、簡単には進められない」などの声もあった